

第1回 和歌山県データ利活用コンペティション募集要項

◇開催趣旨

和歌山県は、データ利活用に関する先進的な施策や普及・啓発等に積極的に取り組み、産学官それぞれにおける公的統計データをはじめとする様々なデータの利活用やそれを支えるデータサイエンス人材の育成等を推進するため、「和歌山県データ利活用推進プラン」を平成28年9月に策定しました。また、国においても、平成28年6月に発表された「日本再興戦略2016」では、データの徹底的な利活用とそれを支えるデータサイエンス人材の育成の必要性がうたわれており、新学習指導要領でも各世代での統計教育の充実が図られているところです。

本県では、このような昨今の情勢を踏まえ、次世代の日本を担うデータサイエンティストを育成すべく、高校生及び大学生等を対象とした「和歌山県データ利活用コンペティション」を開催いたします。

若い世代の皆さんにとって、今回のコンペティションへの参加が、地域の現状をよりよく理解し、データを利活用して物事を客観的かつ正確に捉えることの重要性を再認識するきっかけになれば幸いです。

◇募集内容

公的統計データをはじめとする様々なデータを利活用した施策提案

○募集テーマ

・高校生の部

あなたがゆかりのある地域（都道府県単位や市区町村単位のほか、任意の地域設定も可）の観光に関する現状・課題を分析し、より多くの観光客を誘客するための施策を提案してください。

なお、観光客の誘客に取り組むためのテーマとして、外国人観光客の誘客・新たな観光資源の創出・戦略的な情報発信等のような切り口で施策提案していただいても構いません。

・大学生の部

あなたがゆかりのある地域（都道府県単位や市区町村単位のほか、任意の地域設定も可）の人口減少問題に対する現状・課題を分析し、その問題を解決するための施策を提案してください。

なお、人口減少問題に取り組むためのテーマとして、少子化対策・社会増減対策・婚姻率の上昇・交流人口の増加等のような切り口で施策提案していただいても構いません。

○応募要件

- ・データを分析した、エビデンス（客観的証拠）に基づく施策提案であるとともに、応募者が発案したオリジナルなもの、第三者の著作権を侵害していないものに限りま。

- ・分析に使用するデータや分析ツールについて使用制限はございません。ただし、参考にした既存の統計や分析結果等がある場合は、必ずその旨を応募用紙にご記入ください。
- ・平成30年2月10日（土）に開催する最終審査会に参加可能であること。（最終審査会の詳細については「審査の流れ」を参照してください）

○利用データ例

- ・国が作成した統計データ（政府統計のポータルサイト「e-Stat」に掲載されている統計データや観光庁が公表している統計データ等）
→e-Stat (<https://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>)
→観光庁が公表している統計データ一覧
(<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoku/toukei/>)
- ・地域経済分析システム（RESAS）を利用して得ることができるデータ
→RESAS (<https://resas.go.jp/>)
- ・各地方公共団体が公表している統計データ
- ・応募者自身が独自に行ったアンケート調査データ等

◇募集期間

- 参加申込受付：平成29年9月1日（金）～平成29年9月29日（金）まで
- 応募用紙受付：参加申込受付日～平成29年10月31日（火）まで

◇募集区分

- 高校生の部（高等学校、高等専門学校1年から3年まで、専修学校高等課程、特別支援学校高等部の在学学生）
- 大学生の部（大学、大学院、短期大学、高等専門学校4年・5年、専修学校専門課程・一般課程の在学学生）
- ※1 高校生の部に参加される場合は必ず指導教員を1名付けてください。
- ※2 参加については、複数人でのグループ参加も可能です。また、グループについては、学校等の垣根を越えた編成も可能とします。

◇応募方法

当募集要項記載の各条件をよくお読みいただき、メールにて下記の連絡先まで参加申込書をお送りください。参加申込受付後、事務局より受付承認メールを送付いたしますので、その後期限までに応募用紙及び補足説明資料をお送りください。応募方法について不明な点がある場合には、事務局までお問い合わせください。

- ※1 参加申込書及び応募用紙については、和歌山県企画総務課のホームページ (<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/index.html>) からダウンロードしてください。
- ※2 応募方法についてはメールのみとさせていただきます。あらかじめご了承ください。

【参加申込書・応募用紙及び補足説明資料送付先メールアドレス】
e0201001@pref.wakayama.lg.jp

◇審査の流れ

データの分析方法や、提案された施策内容等について、厳正に審査を行います。

- 第1次審査：応募された提案について、書類審査を行い、最終審査に進出する参加者を決定します。審査結果は合否にかかわらず12月末までに代表者宛にメールで通知します。
- 最終審査：第1次審査通過者には最終審査会に出席してプレゼンテーションを行っていただき（5分以内）、厳正な審査に基づき、各賞を決定します。その後、同じ会場で表彰式も行います。

【最終審査会・表彰式の日時と会場】

日時：平成30年2月10日（土）13:00～17:20（予定）

会場：和歌山県民文化会館小ホール（和歌山県和歌山市小松原通り1-1）

【審査委員（予定）】

一橋大学経済研究所長・教授 北村行伸

滋賀大学データサイエンス学部長 竹村彰通

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授 渡辺美智子

文部科学省初等中等教育局視学官 長尾篤志

他数名

- ※1 第1次審査の通過者は必ず最終審査会に出席してください。
- ※2 最終審査会及び表彰式は、同日同所で開催する「データ利活用シンポジウム」内で行います。
- ※3 最終審査会に出席するために必要な旅費については、県の規定に基づき算出した額を1チームにつき5名分（指導教官分を含む）まで支給します。

◇表彰

- 高校生の部：大賞1点（副賞として商品券20万円）、優秀賞1点（副賞として商品券10万円）、奨励賞1点（副賞として商品券5万円）を表彰いたします。
- 大学生の部：大賞1点（副賞として商品券20万円）、優秀賞1点（副賞として商品券10万円）、奨励賞1点（副賞として商品券5万円）を表彰いたします。

◇著作権

応募物の著作権は応募者本人に帰属しますが、県が広報・宣伝の目的、または公共の利益のために利用・複製することは無償で認められるものとします。

◇個人情報の取扱いについて

- 応募の際にいただいた個人情報は、本コンペティション運営のためにのみ利用します。
- 取得した個人情報を第三者に提供することはありません。ただし、受賞者の氏名は公開することがあります。

◇本コンペティションに関するお問い合わせ窓口（事務局）

和歌山県企画部企画政策局企画総務課

住所 〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通 1-1

TEL 073-441-2334

FAX 073-422-1812

Mail e0201001@pref.wakayama.lg.jp

◇実施主体

主催：和歌山県

後援：内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、一般社団法人日本統計学会、
国立開発法人科学技術振興機構